

平成28年度 学校自己評価システムシート（山村学園高等学校）

目指す学校像	校訓「質実・英知・愛敬」を踏まえ、人格の完成を図るとともに、次代を担うことのできるたくましい人材の育成を図り、生徒・保護者の期待に応えることのできる学校を目指す。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学力の向上と自主自立の精神を養い、より豊かな人間性を身につけさせるために、「キャリア教育」と「7つの習慣J」を融合し、組織的に取り組む。その中で、自己の在り方や生き方を考え「生きる力」を育み、たくましい人材を育成する。 2. 生徒一人一人の能力や個性を生かした進路実現を目指して、進路部・各教科・各学年の連携強化を図り、生徒の学習意欲や進路意識を高め、全生徒の進路(進学)実現を目指す。 3. 安全安心の環境づくりを図るとともに、生徒指導を徹底し、規律ある学校生活を確保する。 4. 保護者(後援会)・同窓会・地域と連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	第三者委員	6名
	事務局(教職員)	5名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					28年度評価(3月25日現在)		
28年度目標					28年度評価(3月25日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな人間性や生きる力を育み、たくましい人材の育成を図る。 文武両道を目指し、活気ある学園生活を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「7つの習慣J」の定着。キャリア教育の充実。 進路意識の啓発。 部活動の充実。 国際理解教育の充実。 学校行事の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 「夢ナビ」へ参加(2年生)。 キャリア教育と「7つの習慣J」の目標設定。 「職業人に聴く」・『大学生に聴く』・「卒業生に聴く」等の実施。 NZ姉妹校との相互交流。 芸術鑑賞会、修学旅行の実施。 数値目標の達成を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 進路(進学)目標の決定。 部活動の加入率と成果。 国際交流の成果。 学校行事実施状況。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路啓発行事 <ul style="list-style-type: none"> 1年対象：大学出張講義など2回 2年対象：進路相談会など2回 3年対象：進路相談会など2回 部活動加入率 <ul style="list-style-type: none"> 1年：83.0% 2年：61.0% 3年：61.0% 全体：73.0% 県大会ベスト8：3部活 関東、全国大会：8部活 夏季語学研修：10名参加 留学：1名復学 	A	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育のさらなる充実を図り、3年間の継続性を持たせる。また、7つの習慣Jを毎週行うことで、良い習慣を身につけ、今年度以上に「生きる力」と心の教育の充実を図る。
2	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学力向上を推進し、生徒の進路実現を目指す。 教員の資質の向上を目指し、教科指導力、学級経営能力のアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導の充実と生徒の進路希望の実現。 生徒の学力向上対策。 授業日数の確保。 大学受験体制の充実。 教科指導、授業改善への取り組み。 ICT教育への取り組み。 学級経営への取り組み 職員研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 進路ガイダンス、「進学相談会」、「大学出張講義」等の充実。 家庭での学習時間。 進路希望調査を実施。 各教科の研究授業(校内)を実施。 進学受験指導研修会、教科研修会(外部)等への参加。 「QU」と「ココカラ検査」を利用したHR経営。 ICT教材活用研究。 進学ゼミ・長期休業中のゼミ、補習などの工夫改善。 学力向上プロジェクト会議の取組。 授業評価アンケートの実施。 学校満足度調査の実施。 職員へのAED講習会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上検証。 現役進学率95%とし、内大学進学率は80%とする。 生徒の進路意識の向上と進学ゼミ参加率の向上。 与えられた家庭学習時間の実行率50%の達成。 授業評価アンケート結果の分析。 学校満足度調査結果分析と公開。 	<ul style="list-style-type: none"> 「下半期生徒調査」の結果 <ul style="list-style-type: none"> 進路意識の向上(上半期比較) 1年：大学進学希望生徒20%増加 2年：大学進学希望生徒10%増加 3年：各進路希望増減 家庭学習時間数(上半期比較) <ul style="list-style-type: none"> 1年：平日0時間が減少し、3時間以上が増加 2年：平日3時間以上が大きく増加 3年：平日4時間以上が大きく増加したが、0時間も増加 ゼミ登録率 <ul style="list-style-type: none"> 1年：74% 2年：67% 3年：55% 自己目標に対する到達度 <ul style="list-style-type: none"> 1年：「できた」以上が10%増加 2年：「できた」以上が11%増加 3年：「普通」の回答が10%増加 授業評価アンケート：10月実施 学校満足度調査：12月実施 職員AED講習会：11月実施 SGゼミの円滑な導入 クラブの有効活用について 研修5回 	A	<ul style="list-style-type: none"> 現役進学率95%とし、内大学進学率は85%以上にするための指導を検討。 第一希望に合格するための検討と指導。授業と進学ゼミの連携の充実。家庭学習時間の確保について。 特色ある特進クラスの検討。
3	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心な教育環境のもとで、生徒指導の徹底を図り、規律ある学校生活を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめの撲滅と不登校生徒の減少を図る。 服装指導、登校指導。 危機管理意識の啓発 災害時、緊急時の緊急対応マニュアル、連絡メールの活用。 	<ul style="list-style-type: none"> カウンセリングや個別面談の充実。 いじめ調査の実施。 教室の照度・二酸化炭素濃度の点検。 平均皆勤率向上のため、担任・生徒指導部の連携強化。 防災訓練、安全点検の実施。 登下校指導等、校外補導の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校・いじめ被害・カウンセリング相談生徒の把握と分析 連絡メールの配信。 諸行事の実施状況把握。 クラスごとの平均皆勤率50%を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導：2件 保健室：1112件 いじめアンケート：9月実施 クラスごとの平均皆勤率50%を目指す。 1年：53.2% 2年：41.1% 3年：56.3% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の取組を継続し、カウンセラー、教員、保護者との綿密な連絡と相互理解を図る。 防災マニュアルの見直しとHPの活用。
4	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた学校を目指し、地域、保護者との連携を密にし、学校からの情報発信を推進する 地元中学校、関係教育機関等との連携を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページの管理と活用。 保護者対象授業公開、保護者会の充実。 オープンスクール・部活動体験・学校説明会や個別進学相談会の実施。 中学校・塾等との連携を推進する。 学警連、川越警察署との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページの工夫改善。 6月に保護者対象授業公開を実施。 保護者面談の実施。 文化祭・体育祭など各行事の案内。 後援会、同窓会活動の充実。 中学校との交流(上級学校訪問、出前授業・部活動)。 「携帯安全教室」の実施。 学校関係者委員会・第三者委員会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページのアクセス件数と更新回数状況。 後援会の活動状況。 同窓会の活動状況。 諸行事の実施状況把握。 学校説明会の実施状況。 学校行事等への来校者数状況。 塾・中学校等との交流状況。 学校関係者、第三者委員会などの実施状況。 	<ul style="list-style-type: none"> HPのアクセス回数：80万件 学校行事への協力支援 定期総会実施(5月) 学校行事への参加 学校説明会：年間6回実施 <ul style="list-style-type: none"> 来校者総数：5230名 相談件数：1632件(学説)982件(個別) 学校行事等への来校者数状況 <ul style="list-style-type: none"> 学校公開：276名 ふじの祭：4339名 体育祭：522名 年2回：塾約700件、中学約200件 各委員会を年間2回実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある学校作りを目指す。生徒・保護者・地域からのアクセス件数の増加を図る。

学校関係者評価	
実施日	平成29年 3月25日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> 「7つの習慣J」の週1回実施の効果を可視化する必要がある。 大学進学率の増加と運動部の実績は文武両道の目標を達成していると言える。 	
<ul style="list-style-type: none"> 大学上位校が入学者数を絞り始めている現状で総合進学コースからの合格者数が増加していることは評価できる。 SGゼミ及びブラスリーの導入が進学率にどのように影響を与えるのか推移を見守りたい。 教科・分掌・委員会などを中心とした大学入試制度改革に向けた取り組みには期待ができる。 平成29年度入学生の増加は本校の教育が地域社会等から良く理解されている証であると考えられる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練、交通安全教室、携帯安全教室、薬物乱用防止講演会などの催しや登下校指導、連絡メールの配信、AED講習会(職員対象)のなど、安全な教育環境づくりに努力している。 QU(学級生活意欲アンケート)の実施などいじめ防止に努力している。 	
<ul style="list-style-type: none"> 体育祭、文化祭、保護者会、学校公開日の保護者来校数の増加は本校への関心・期待の表れである。学校満足度アンケートの結果を踏まえて一層の努力をして欲しい。 クラブによる生徒・保護者への連絡、携帯電話の取り扱いルール変更など時代に即した対応ができている。 	

